

## まち運営会議(第141回)議事録(概要)

令和5年11月22日 18:30～20:20

自由が丘エヌケービル3F会議室

議長 卯月盛夫

### 議題

1. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備(案)について  
目黒区環境保全課
2. 自由が丘1-29地区再開発の仮囲いについて  
目黒区地区整備課
3. 自由が丘地区の防災対応の現状
  - ① 自由が丘帰宅困難者対策協議会より
  - ② 自由が丘住区エリア避難所運営協議会より
4. その他

### 資料

1. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備について(案)
2. 帰宅困難者避難誘導訓練の関連資料
3. 地域避難所運営の関連資料

●議長 第141回の自由が丘のまち運営会議を次第に沿って行います。

#### 1. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備(案)について

\*環境保全課課長より資料1の自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備について(案)(経緯 / 土地の整備方針(案) / 公衆喫煙所(案) / 多目的広場(案) / 維持管理の方法(案) / 今後のスケジュール(予定))についての説明があった。この資料は、議事録概要とともに、まち運営会議のホームページに掲載せず。

●議長 ありがとうございます。質問や意見をお願いします。

●年代の異なる誰もが利用できる多目的広場と喫煙所の併設は根本的に間違っていないか。

●課長 喫煙所は迷惑施設と思われるが、それに付加価値をつけて、まちの人に受け入れてもらえるように考えた。いまは良い空気清浄機があって、においなどは外に出ない。他に案としては、災害時にも電源として利用できるソーラーパネルの設置、まちの情報を伝える掲示板の設置などもあった。

●喫煙所の利用定員が約6人なので、多目的広場での喫煙状況が発生しないか。

●課長 こういう施設を利用しようと来る人たちは、マナーを守り他人に迷惑をかけないと考えている。

\*その他の質問に対する課長の答弁内容を以下に列記する。

・開錠は朝10時、施錠は夜10時で、現行の他の施設と同様にする。区の委託業者が担当する。利用状況をみて、時刻の変更も検討する。

・毎日2回清掃する。空気清浄機のフィルターの汚れもチェックする。

・防犯カメラは、喫煙室内部にはもちろん、敷地の右奥にポールを立てて、その上部に設置しゲートまで全体をカバーする予定である。しらかば通りの通行人は映らないようにする。

- ・ 外灯は複数設置する。夜 10 時から朝方までは、人感センサー付きの照明を考えている。
- ・ 喫煙室の床材は難燃性だけでなく、雨の日などに濡れても滑りにくい対応をとりたい。
- ・ トレーラーの色やデザインはまちの人たちと協議して決める。利用状況によっては次年度以降の増設も考える。
- ・ 多目的広場に植栽する場合には、プランターを利用する。トレーラーの移動や広場の多様な利用を考慮して地面に直接には植えない。
- ・ 敷地は東急から 4 年半の契約で借用した。間口約 3.6m、奥行約 19.7m で、広場の奥行はおおよそ 15m である。
- ・ 公衆喫煙所の存在とその利用ルール等を記した案内板をゲート付近に設置する。
- 課長 さらに、しらかば通り会や振興組合などまちの方々と協議して、おそくても今年度中に設置したい。

## 2. 自由が丘 1-29 地区再開発の仮囲いについて

- 地区整備課係長 産業経済・消費生活課に代わって報告するが、まだ決まっていないこともある。「窓際のトットちゃん」の映画が 12/8 に公開される。その内容が自由が丘に関係深いので、区は地域文化の振興、まちのイメージアップ、来街者の増加、商店街振興の観点から、自 1-29 の工事用仮囲いを使って「窓ぎわのトットちゃん まちなかギャラリー」を設置する予定である。トモエ学園等の写真を掲示する。駅前広場側の仮囲いを使う。掲示期間は決まっていない。映画の宣伝にならないようにする。
- 議長 「まちなかギャラリー」は、区はどう定義し、展開するのか。
- 係長 「窓際のトットちゃん」に限って使っている。地域振興の取組と考えている。映画の中のいくつかの風景・シーンを掲示する。
- 議長 フィルムに印刷して貼ると思われるが、掲示期間と費用はどこが持つのか。
- 事務長 いまの仮囲いは解体工事用のもので、区道を使わせてもらっている。これが 1 か月後には、敷地内の建築工事用の仮囲いに代わる。それまでの期間の掲示になる。90 歳を超えたトモエ学園の関係者などからも、自由が丘の古い写真も集めてそれを映画用に提供した。この掲示は屋外広告物に当たり面積 30 %以内の制限がある。歩道のある広場側だけに、このホワイトボードより少し大き目のものがいくつか貼られる。掲示費用は東宝の宣伝部が持つ。掲示期間が短いので注意して見てほしい。
- 理事長 本格的な建築工事のための新しい仮囲いになったときは、自 1-29 地区再開発組合としてオリジナルなデザインの掲示ができるよう、いまはデザイナーの選定など内容を詰めている段階である。
- 議長 ありがとうございます。楽しみにしています。次の議題に入ります。

## 3. 自由が丘地区の防災対応の現状

- 事務長 自由が丘には防災関係の協議会が 2 つある。1 つは商店街の「自由が丘帰宅困難者対策協議会」で、他の 1 つは住民の「自由が丘住区エリア避難所運営協議会」である。いずれも区の防災課や消防等も関わっている。11/15 に帰宅困難者対策協議会は、4 年ぶりに駒沢オリンピック公園への避難誘導訓練を実施したので、関連して現状と取組についてお話す。
- 1) 国や都は大きな災害が発生したときには、鉄道が不通になる。通勤・通学者や来街者が一斉に帰宅すると道路が塞がり緊急車両が通行できなくなるので、「おやみに移動しない」「原則 3 日間の現地留め置きと水や食料の備蓄の対応」を推進している。特に帰宅距離が 20km 以上の人と帰宅断念者を帰宅困難者としている。
- 2) 大きな地震発生時に、自由が丘駅周辺では、建物等の破損・倒壊と火災が発生し、通行できない道路もあり、多くの人やまちにいてケガ人も出るので混乱が予想される。まちに留まることは危険なので、この場合には広域避難場所に指定されている駒沢オリンピック公園に避難誘導する

ことに決めている。風向き等によっては、東工大、多摩川河川敷もあり得る。

3) 駒沢公園までは駅から直線距離でおよそ2kmある。今回の避難誘導訓練では、防災課や公園の管理事務所、警察、消防団等の協力を得て、まちの人、セザンジュ、自由が丘駅や銀行等からも参加があり、約50人を2つのグループに分けて、用意した地図を参考に歩いた。途中、ガラスの多い建物、倒れると危険な変圧器の載った電柱・大木・老朽家屋、付近の地域避難所、目黒通りの陸橋利用や横断などに注意を向けて歩いた。

4) 駒沢公園内は、数多くのマンホールトイレを設置できるようになっている。その傍には井戸水が出るようになっていて、各トイレを覆うテントを収容する倉庫もあり、確認して質問もした。

5) 避難施設に指定されている屋内球技場の中を見学し説明を受けた。フロアは1000人収容でき、他に椅子席やいくつもの小部屋もあり、備蓄品のある倉庫も見つめた。配布資料の写真等を見てほしい。なお、陸上競技場はヘリポートになり、緊急物資が調達されやすくなるよう計画されている。

6) 3.11のように鉄道は止まるが自由が丘の駅周辺に大きな被害がない場合は、まちに滞留できる場所（一時滞在施設）の確保、水や食料などの備蓄などについて、再開発事業と関連して検討している。

●議長 質問などをお願いします。

●宮前町会が中心になって12/19に宮前小学校で避難訓練をする。今回は避難者が利用できる学校施設、西部地区備蓄倉庫内の地域避難所として利用できる物品、その他の地区用備蓄品や管理状況を見学し説明を受ける。広域避難場所として駒沢公園に避難することもあり得るので、今日の資料の地図を何枚かいただいて、参加者に見てもらい参考にしたい。

●事務長 地図は提供できる。

●大きな災害時での避難誘導に、警察は協力可能か。

●事務長 警察は緊急車両用の道路確保、まちの被災状況の調査等で、自由が丘駅周辺にいる人たちの避難誘導までは手が回らないと聞いている。商店街の防災リーダーなどが担当することになるだろう。率先して声を出し歩き始めると、多くの人がついてくるという事例がある。イベント時には警察や消防団の人たちもいるので、避難誘導の初期対応は適切にできると思われる。

●誰もがもっているスマホに、プッシュ型で情報を伝えることはできないか。

●事務長 大きな災害時に、ドコモ、AU、ソフトバンクなどは通信量をかなり制限してつながりにくくなる。自由が丘は昨年よりフリーWi-Fiスポットを設けている。やや遅いがインターネットに接続できて、避難場所が駒沢オリンピック公園であり、そのルートを図で示してある。

●自由が丘で働いている人は、地域避難所に入れないのか。

●宮前小も地域避難所になるが、小学校に近い世田谷区内の住民も来ると想定している。

●事務長 地域避難所は家屋の倒壊や火災の延焼等で自宅に住めなくなった住民を対象としている。都の方針では、事業所の人を3日間留め置きとしている。駅周辺で身に危険がせまる場合には、事業所の人や来街者は地域避難所がパンクしないように、広域避難場所の駒沢公園へ行く。

●事務長の説明でよいが補足する。自由が丘駅周辺に滞留者が多数いて、住宅地の被害がほとんどない場合を想定して、区の防災課は資料2ページの2)にあるように「避難所運営協議会及び区災害対策本部で協議し、地域避難所（緑ヶ丘小学校、自由ヶ丘学園高等学校）で帰宅困難者を受け入れる場合もあります」と考えている。また、そうした場合には11)にあるように、補完避難所の活用も判断するであろう。帰宅困難者の安全と苦労軽減のために区の対応は必要であると思う。

●議長 避難所運営協議会についてお願いします。

●資料に避難所の種類とその役割が記されてあるが、区は地域避難所運営に力を入れている。特

に避難所運営協議会への熱心な参加と訓練への協力、地域避難所の防災倉庫備蓄品の管理等で、地域の人たちの避難所運営に関する理解と協力も向上していると感じている。区内に震度5弱以上の地震が発生すると、各地域避難所に6人配属される「参集指定職員」は周辺の被災状況等を区に報告し、地域避難所開設の準備をする。その開設の当初は施設長(校長等)が本部長となり地域の人たちは協力する。建物の安全確認をする人も来ることになっている。協議会は運営マニュアルを作って訓練等にも活かしている。その他細かいことがあるが、配布資料を見てほしい。

●議長 避難の仕方の違いがわかった。自由が丘では再開発ビルを建てるときに、帰宅困難者の一時滞在施設を設けることは進めているのか。

●事務長 自由が丘は地価が高いのでスペースがとりにくい。自1-29の再開発事業には間に合わなかったが、帰宅困難者対策協議会として事業者と一時滞在施設を設ける協議ができ、区もそれを推進するように区に要望書を出してある。協力した事業者は区と協定を結ぶことになる。自由が丘では会議室のある銀行のいくつかが協定を結んでいるが収容量は小さい。世田谷区では二子玉川のライズが協定を結んで対応している。

●議長 自1-29のビルでは確保できるのか。

●事務長 地下駐車場への斜路の下に備蓄倉庫を設ける。ビルに振興組合が入るので、やや大きいホールを計画している。災害時はそこを対策本部や一時滞在場所に利用したいと考えている。

●議長 再開発事業における地域貢献の中に、帰宅困難者を何人受け入れられるかがある。各区の都市計画審議会では、その点も考慮して再開発を許可している。自由が丘でも2棟目、3棟目では採りあげてほしい。

#### 4. その他

●前回、自1-29地区の建築工事の説明の中で、工事車両が多いときは日に100台通行することがわかった。それに関して歩行者の多い時間帯には危険でないかという懸念も出た。その後、再開発組合と工事を担当する鹿島は、区や警察と相談して工事車両の昼間の通行量を減らして夜間にも通行することにした。関係する沿道のみなさんや周辺の学校にも理解を求める文書を作成し、事業者が説明して理解を得たと昨日連絡があった。世田谷区方面の町会長たちには等々力にある世田谷区玉川総合支所の地域振興課に説明をお願いした。町会長たちの反応として「工事が長引くよりも、夜間の適切な通行を認める方がよい」があったとも聞いている。

●代表 昼間に出た残土を夜に運ぶとか、昼間に使用する建築材を夜のうちに運び込むなど、状況にあわせて柔軟な対応をして、まちの人たちへの負荷を軽減したいと考えた。

●理事長 クリスマスに関係するイベントが各商店街で企画されている。振興組合は12/3に駅前のイルミネーションの点灯式をする。東急と相互乗り入れする鉄道の駅長さんなども参加する。その前の時間には、幼稚園児やまちのグループのクリスマスソングの演奏等がある。すでに旭会は11/3に城南信用金庫の前にクリスマスツリーを設置した。その時の気温は25度であった。

●代表 南口商店街は明日に点灯式をする。ジャズバイオリンの演奏、レーザー光線のパフォーマンスもある。区長、区議会議員、東急電鉄の駅長たち、消防署長、警察署長も参加する。

●12/3の午前中に、緑ヶ丘小学校で、緑が丘西地区自治会、自由が丘町会、自由が丘住区避難所運営協議会合同の防災訓練を実施する。体育館などで段ボールベッドを組み立て、そこに小型のテントを設営する。各種の発電機を操作する。校庭にある受水槽から水道水を利用する。大型炊飯器で湯を沸かす。AEDや消火器の操作に慣れる訓練もする。それぞれ課題があれば検討する。

●議長 これで今年最後のまち運営会議を終了します。みなさん、よい年をお迎えください。

12月がなくて、次回の会議は1月25日の木曜日になります。■